

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、循環器内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 東京女子医科大学循環器内科に心不全入院した患者の予後調査

[研究対象者]

2005年4月～2023年12月までの間に、循環器内科にて心不全と診断され、循環器内科で診断・治療を受けられた方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：入院時、入院中、退院時および外来診察時それぞれにおける診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、バイタルサインおよび理学検査所見、臨床検査値、生理検査、画像診断結果、治療内容、各種スコア、予後等。

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

「心不全パンデミック」と形容されるほど日本を含め世界の心不全患者は増加の一途を辿っており世界的な問題となっております。また我が国においては、心臓病が癌に次いで死因の第二位となっており心臓病の克服が国民の健康寿命促進のため必須の課題となっております。東京女子医科大学循環器内科では、以前より心不全患者を中心に心臓病患者の集学的治療、研究を行ってきました。また国内で最初の補助人工心臓植え込み施設、心臓移植施設としての役割も担っており、現在、全ての心疾患の終末像である重症心不全患者に対し、補助循環をはじめとして多くのデバイスを含めた治療戦略を展開し、重症心不全患者の救命および心臓移植へのブリッジが可能となっております。時代の変化とともに、新たなデバイスや新規心不全治療薬の登場があったものの未だに心不全患者の予後は不良であり、さらなる臨床研究がより一層重要となっております。また最新の世界からの報告では、退院後に心臓病患者はイベントを起こすことを踏まえ、入院時の患者背景だけでなく、入院中や退院時、さらには外来診察時の患者背景のデータを元に予後調査を行う傾向にあります。こういった背景を受け、東京女子医科大学病院循環器内科に入院した患者様の実態（疾患分布、入院時の患者背景、治療介入、入院中の患者背景、退院時の患者背景、外来管理時の患者背景、予後など）について診療録を用いて調査し、心不全患者の予後について解明することを目的としています。

[利用期間] 倫理審査委員会承認後より2028年12月31日までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

[研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

研究責任者：東京女子医科大学 部署名 循環器内科 職名 講師 氏名 南 雄一郎

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 部署名 循環器内科 氏名 高田 卓磨

電話：03-3353-8111（28417）（応対可能時間：平日9時～16時）

ファックス：03-3356-0441 Eメール：takada.takuma@twmu.ac.jp